 국토교통부	<h1>報道資料</h1>	
	配布日時	2018. 3. 5.(月)/ 全3枚(本文3)
担当部処 交通政策調整課	担当者	課長安錫煥(アン・ソクファン), 事務官黄聖弼(ファン・ソンピル), 主務官チョン・サラン ☎ (044)201-3804, 3788, 3785
報道日時	2018年3月6日(火)朝刊から報道してください。 ※通信・放送・インターネットは3月5日(月)11:00以後報道可能	

平昌五輪を成功に導いた‘交通’…パラリンピック成功までつなぐ パラリンピック期間のKTXの障害者席・便宜施設拡充等交通対策を運営

□国土交通部(長官金賢美(キム・ヒョンミ))は, 平昌冬季五輪の成功をパラリンピックにつなげるために交通弱者を含む全国民が祭典を楽しめるように, 多様な輸送対策を準備して運営する計画である。

□3月9日から18日まで10日間開催されるパラリンピックは, 五輪と比較して規模*が小さいが, 移動が不便な国内外の車椅子観光客の円滑な開催地へのアクセスのために, 注意深い交通サービスが必要である。

* 期間(17→10日),種目(15→6種目),運営人材(5.5万→3万),観衆(140万→22万)等縮小

○このため, パラリンピック期間は京江線のKTXを一日片道平日22回, 週末30回運営(仁川空港発～江陵着の4便を含む)して, 一編成当たり車椅子座席を既存の5席から15席に拡大する計画である。

-車椅子座席の場合, 障害者用トイレ等の施設を備えた1,2号車に10席を追加的に確保し, 車椅子を利用しない障害者のために3～8号車両の一客車当たり10席, 合計60席を優先予約座席として運営する予定*である。

* 出発20分前までに前売りが成立しない場合は一般席に転換

-あわせて, 交通弱者の列車の乗降車及び乗換え等を支援するために, K ORAIL(韓国鉄道公社)の障害者ヘルパー制度を拡大・運営して, 特に海外の車椅子利用客の仁川空港～開催地の移動の間に, サービスの死角地帯がないように, 引継ぎ地点及び所管区域を明確にする等, 機関間の協力体系を構築している。

- また、仁川空港内には障害者専用ラウンジとファスト・トラックを運営して、高速道路休憩所と眠気避難所における障害者便宜施設を整備・拡充する等交通弱者の移動に伴う不便が最小化されるように関連施設を改善した。
- 開催地域内でも、円滑に移動できるように、組織委員会と協力して低床バス48台と特別交通手段(車椅子リフト付きミニバン)139台を確保した。このうち、低床バスは観衆シャトルバスの13路線に投入されて、路線毎に6~20回運行される予定である。
- 平昌組織委員会によれば、パラリンピックの観衆全22万人のうち車椅子の観光客は計3,500人余りと予想されて、この内、外国人は100人余りと思われる。*
 - * 選手団等のクライアント(計6,000人余のうち車椅子障害者300人余)に対しては組織委が確保した特装バス(46台)と特別交通手段を活用して輸送を全て受け持つ
- 閉会式(3月18日)には、外国人10人余を含む450人余の車椅子の障害者観衆が、現場を訪れると予測されるため、チケットの重複購買率と公共交通分担率等を考慮して、十分な水準の鉄道輸送供給(車椅子席:週末450席、仁川空港発:60席)を確保した。
- あわせて、組織委員会は、韓国内の交通弱者のアクセシビリティを増進するために、大韓障害者体育会等とともに、市・道毎に‘競技観覧特別輸送支援プログラム(バス賃借)’を別に用意しており、韓国内の交通弱者観覧需要を大規模に充当するとみられる。
- 一方、2月25日に閉幕した五輪には、合計32.5万人がKTXと市外・高速バス等の公共交通を利用して訪問し、車両は合計96万台が訪問したと分析された。
- 今回の五輪には、累積140万人が訪問するなど興行的には、大成功したが、その裏側には、高速道路網の拡充及び通行料免除等とともに京江線KTXの新設と市外・高速バスの増車等、便利な公共交通、そして“Go平昌”
*等新しいO2O(Online to Offline)サービスが大きな役割を果たしたと評価されている。
 - * 組織委が開発した五輪輸送統合アプリで11万件以上のダウンロード数を記録



(在韓大 仮訳)

○特に、京江線KTXは、首都圏～開催地間の移動時間を2時間前後に画期的に短縮して、定時制を確保して、円滑な五輪輸送に大きく寄与した。またIOCは、平昌五輪の代表的な遺産として交通インフラに言及した。



○この過程で、開催地駅の住民等は、江陵の車両2部制施行に、積極的に参加し、1.5万人のボランティアメンバーは厳寒にもかかわらず、交通案内等を積極的に支援する等、全国民の多くの努力と献身が五輪成功という成果を産むことができた。

○国土交通部の金正烈(キム・ジョニョル)交通物流室長は、五輪の成功を継続するために、パラリンピック期間にも組織委員会の交通管理センターに国土交通部の人材を派遣して、パラリンピックの輸送状況に直ちに対応することができるように状況把握班を編成して、運営する等円滑な交通の運営に万全を期する計画だと明らかにした。

 공공누리 공공저작물 자유이용허락	 울진포시	この報道参考資料と関連してみても詳しい内容や取材を希望されれば 国土交通部交通政策調整課(Tel.044-201-3788)に連絡をください。
--	---	--